学校運営協議会を核とした地域の絆づくり活動

埼玉県さいたま市

●活動名

●関係する学校名

桜山中学校スクールサポートネットワーク

さいたま市立桜山中学校

協働活動 開始年度	平	平成 23		年度 以前	学校運協議:		令	指定·設置日 和元年4月1日設置		设置	地域学校 協働本部	有
活動区分		学校支援活動				地域課題解決学習			地域人材育成			
		_				放課後子供教室						
統括的な地域学校協働				酉	汝		地域学校協働活 推進員等の数		舌動			
活動推進員等の数			<u> </u>									女
ボランティア の数		7	延べ登録人数			企業・NPO 等との連携		有	-	C T 機器 活用	有	
1.1.1.1.1.1.1		61人								/μ/π		
参考URL http://sakurayama-j.saitama-city.ed.jp/												
0.40 7.04 +++++W.U.++24+												



●連絡先 さいたま市立桜山中学校

☎ 048-794-4061

● 桜山中学校では、桜山中学校スクールサポートネットワーク協議会を設置し、学校と地域諸団体等との連携・協働推進の要となる学校地域連携コーディネーターのコーディネートのもと、諸団体間での情報交換や、地域学校協働活動等を行っている。さらに、平成31年度、さいたま市教育委員会より桜山中学校・東岩槻小学校連携のコミュニティ・スクールモデル校の指定を受け、令和元年度より小・中連携のコミュニティ・スクール実践校として、学校運営協議会を設立した。桜山中学校・東岩槻小学校の児童生徒の健全育成をねらいとしながら、「基礎学力の向上」と「豊かなかかわりの充実」をテーマに、学校運営協議会として出来ることを探究・実践している。桜山中40周年を学校・地域で祝うことや、両校の土曜チャレンジスクールでも連携していくとの学校運営協議会の決議を受け、学校運営協議会主催による音楽会を実施したり、小学校で実施している漢検を中学校の土曜チャレンジスクールでも導入・実施したりする等、小・中連携を意識して地域とかかわり合いながら様々な地域学校協働活動を行っている。

● 活動の特徴・工夫

【地域学校協働活動としての特徴的な取組】

- ①「あいさつが大事。」をモットーに,小・中両校で「あいさつ運動」を実施している。中学校では,登下校時に教職員が挨拶に立ち,生徒会・保護者も「あいさつ運動」を行なっている。また,冬季に小・中学生が合同で「あいさつ運動」を展開している。
- ②土曜チャレンジスクールでは、地域住民等のボランティアが自主学習をサポートし、生徒の学びの向上を支えている。小学校で実施している「漢検」を導入する等、新たな取組も行っている。
- ③「豊かなかかわりの充実」の一環として、学校運営協議会主催の音楽会を開催し、小・中両校と地域住民の協働による「地域とともにある学校づくり」を進めた。吹奏楽団による演奏や、楽団と児童生徒との競演等、本物の芸術に触れさせることにより、子どもたちの豊かな感性をはぐくむことができた。

【実施に当たっての工夫】

- ・学校も各地域諸団体もそれぞれ独自に活動を行っているため,連携行事は前年度に協議し,次年度の日程を決定。
- ·学校地域連携コーディネーターが活動時の事故がないように,事前打ち合わせの際に手順や進め方,安全面等について助言·指導。
- ・地域の活動を充実させるため、参加人数を確保できるよう、効果的な広報を実施。

【関係機関・団体等との連携状況】

桜山中学校スクールサポートネットワークでは、学校運営協議会と密接な連携を図っている。学校運営協議会のメンバーは、地域 自治会長、民生児童委員、福祉協議会長、幼稚園、保育園、養護施設園長、両校PTA会長等の29名で構成される。前述のとおり、学校運営協議会の決議を受け、令和元年度は、「学校運営協議会主催音楽会」等の地域学校協働活動を実施した。

● 地域学校協働活動を実施しての効果・成果

桜山中学校・東岩槻小学校の学校運営協議会を中心に、両校関連の連携・協働が進み、地域にも活気が生まれている。小・中合同で開催した音楽会は、児童生徒、教職員、保護者、地域住民や教育長、区長等合わせて730人が参加する盛大なもので、夢の時間を共有することができた。参加者からは、「地域で実現した音楽会のモデルケースとなったと思う。」「音楽会で唄い踊っていた子どもたちの表情は忘れられません。」等の声が聞かれた。従来の学校評議委員会の枠組みよりも、学校運営協議会はスケールが大きいため、実行力もある。今後も学校運営協議会とスクールサポートネットワークとが密接な連携や情報交換を図りながら、地域学校協働活動を実施していく。

● その他

中学生職場体験事業「未来(みら)くるワーク体験」では,地域の事業所が生徒を受け入れてくれている。(令和元年度受入れ事業所数:20)



会学校運営協議会主催の音



土曜チャレンジスクール